

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公表番号】特表2011-530381(P2011-530381A)  
【公表日】平成23年12月22日(2011.12.22)  
【年通号数】公開・登録公報2011-051  
【出願番号】特願2011-523010(P2011-523010)  
【国際特許分類】  
    A 6 1 F    2/12       (2006.01)  
【FI】  
    A 6 1 F    2/12

【手続補正書】  
【提出日】平成24年5月1日(2012.5.1)  
【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項1】

人の移植用乳房プロテーゼであって、該装具は組織に接触するために構造化された外部構造を有するシェルを含んでなり、該シェルは、第1オープンセル構造を有する第1固定面、および第1オープンセル構造とは異なる第2オープンセル構造を有する第2固定面を含み、

該第1固定面および第2固定面は、それぞれ、体とシェルとの接触部分において、体内で異なる組織内殖度または組織接着度を促すように配置されるプロテーゼ。

【請求項2】

第1固定面および第2固定面は、プロテーゼを体に移植した後、プロテーゼの被膜組織形成を中断するまたは阻止するよう効果的に配置される、請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項3】

第1オープンセル構造が比較的大きなオープンセルを含み、第2オープンセル構造が比較的小さいオープンセルを含む、請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項4】

第1オープンセル構造は第1分布のセルを含んでなり、第2オープンセル構造は第2分布のセルを含んでなり、第1分布のセルが第2分布のセルよりもより高密度である、請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項5】

第1オープンセル構造は、比較的大きな円形オープンセルを含んでなり、第2オープンセル構造は、比較的小さな円形オープンセルを含んでなる、請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項6】

第1オープンセル構造は、比較的円形のオープンセルを含んでなり、第2オープンセル構造は、比較的角張ったオープンセルを含んでなる、請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項7】

さらに、シェルに包み込まれたゲルコアを含んでなる請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項8】

体に移植後、シェルが生理食塩水により満たされ得る、請求項1に記載のプロテーゼ。

【請求項9】

人の移植用乳房プロテアーゼであって、シェルが、

(a) シェル前駆体を供給する工程、

(b) シェル前駆体にシリコーンエラストマーの層を適用する工程、

(c) 層が完全に硬化する前に、シリコーンエラストマーの一部に第1構造の固体粒子を適用する工程、

(d) 層が完全に硬化する前に、シリコーンエラストマーの別の一部に、第1構造とは異なる第2構造の固体粒子を適用する工程、および

(e) 層を完全に硬化させる工程、および

(f) シリコーンエラストマーを感知し得る量溶解しない溶剤により固体粒子を溶解することにより、第1構造の固体粒子の前記適用により形成された第1オープンセルテクスチャー領域および第2構造の固体粒子の前記適用により形成された第2オープンセルテクスチャー領域を有するエラストマーシェルを形成する工程

により製造されるプロテアーゼ。

【請求項10】

体内で組織接着または内殖が、第2オープンセルテクスチャー領域とは異なる第1オープンセルテクスチャー領域に連動するよう構築される請求項9に記載のプロテアーゼ。